

平成22事業年度 決算(案) [概要]

平成22事業年度決算(案)においては、法人全体で51.0億円、特に審査等勘定については28.0億円(審査セグメント21.6億円、安全セグメント6.4億円)の当期総利益を計上している。

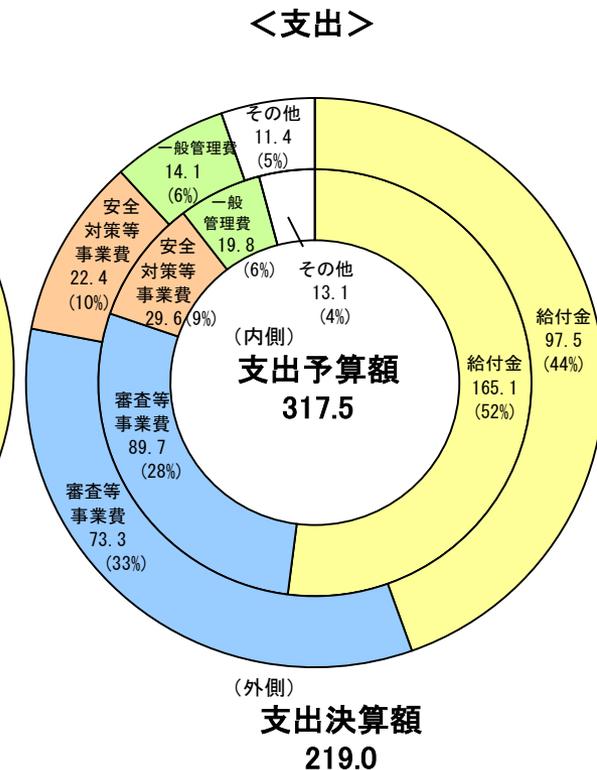
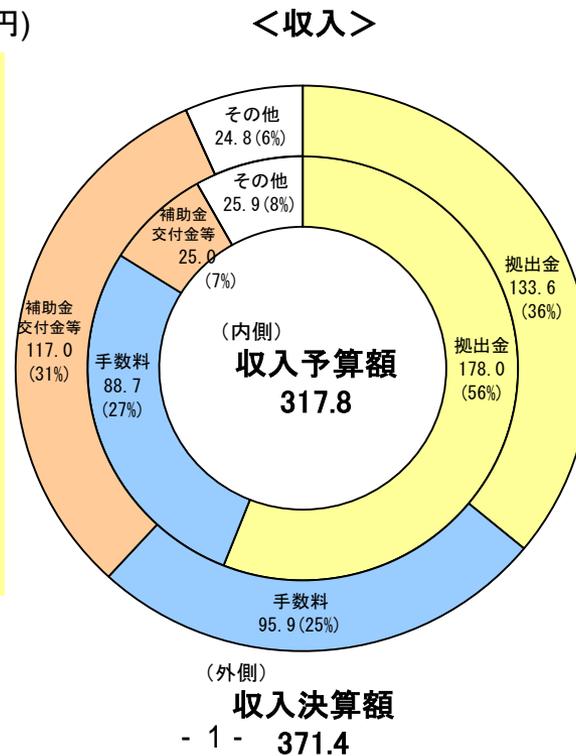
その主な要因としては、支出面では、コスト削減などにより審査等事業費が対予算比16.3億円減、安全対策等事業費が対予算比7.2億円減となるなど大幅な削減が図られた一方で、収入面では、新医薬品等の審査件数の増加などにより手数料が対予算比7.2億円増、出荷額の増加により拠出金(特定救済勘定を除く)が対予算比2.6億円増となるなど見込みを大幅に上回ったことによるものである。

【決算報告書の概要】 (単位:億円)

| | 22年度予算額 | 22年度決算額 |
|------|---------|------------|
| <収入> | 317.8 | 371.4 (注1) |
| <支出> | 317.5 | 219.0 (注2) |

(注1) 収入決算額が収入予算額を上回っているのは、特定救済勘定において政府交付金95.0億円を新たに受け入れたことが主な要因である。

(注2) 支出決算額が支出予算額を下回っているのは、特定救済勘定における特定救済給付金が見込みを63.8億円下回ったことが主な要因である。

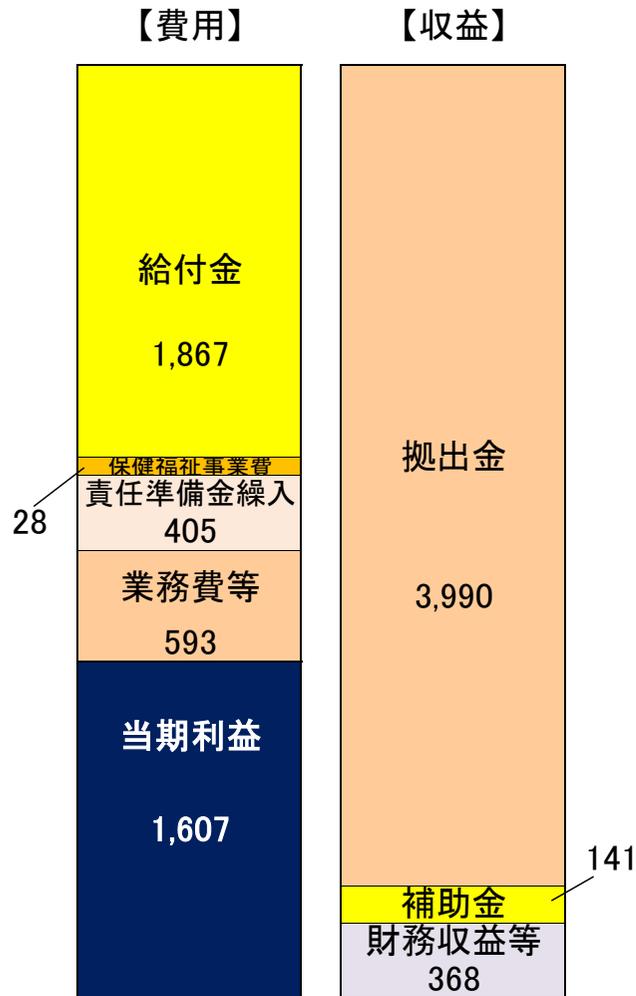


平成22年度財務諸表(概要)

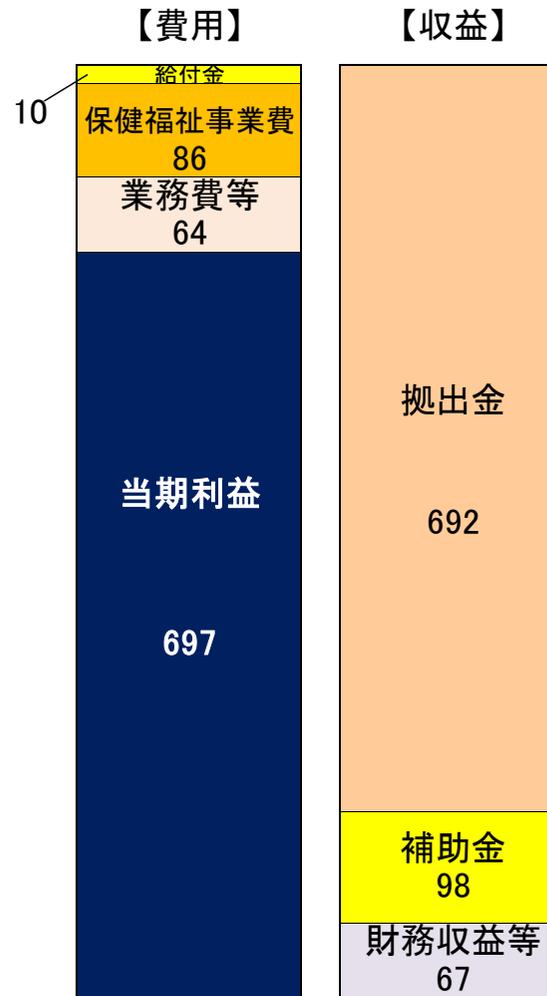
(単位:百万円)

I. 損益計算書

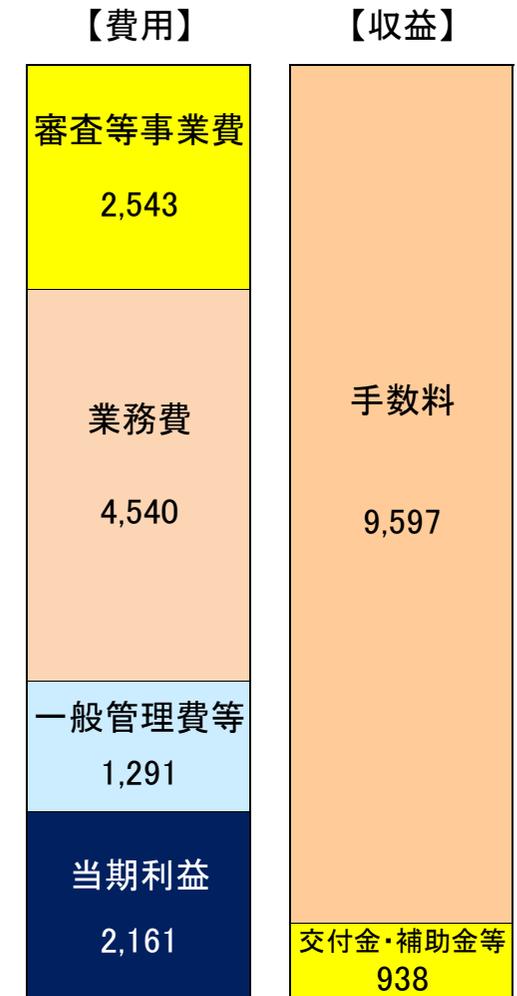
【副作用救済勘定】



【感染救済勘定】



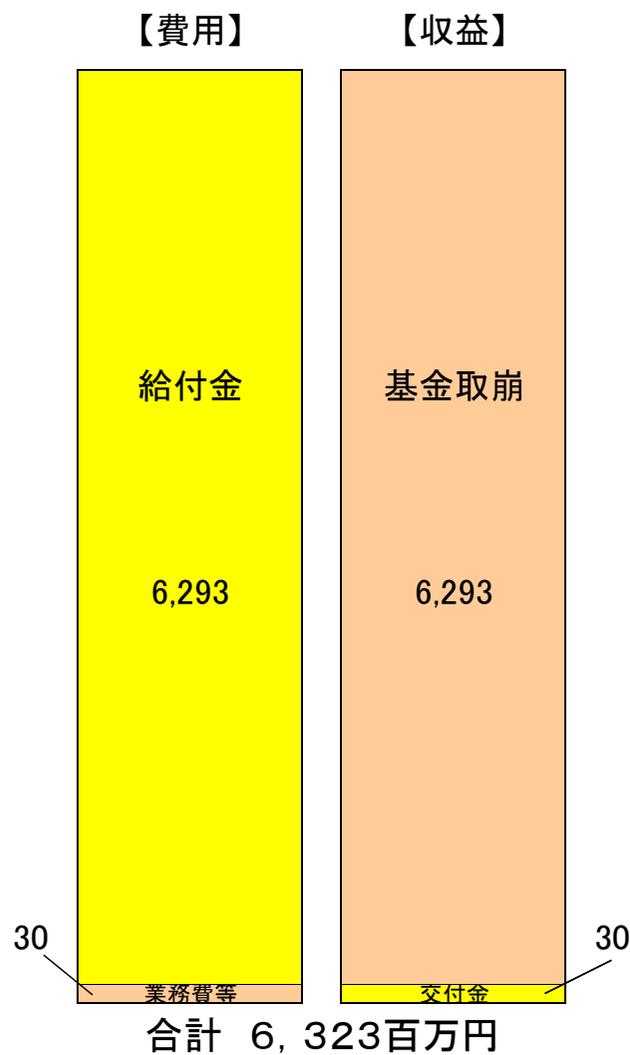
【審査等勘定(審査セグ)】



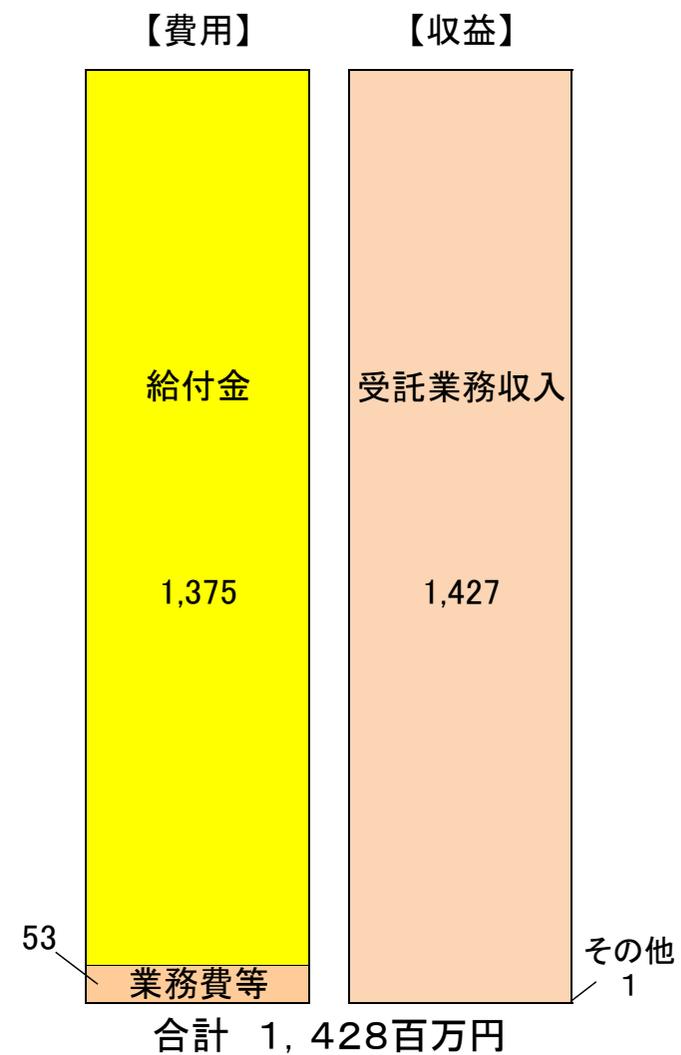
【審査等勘定(安全セグ)】



【特定救済勘定】



【受託・貸付勘定】



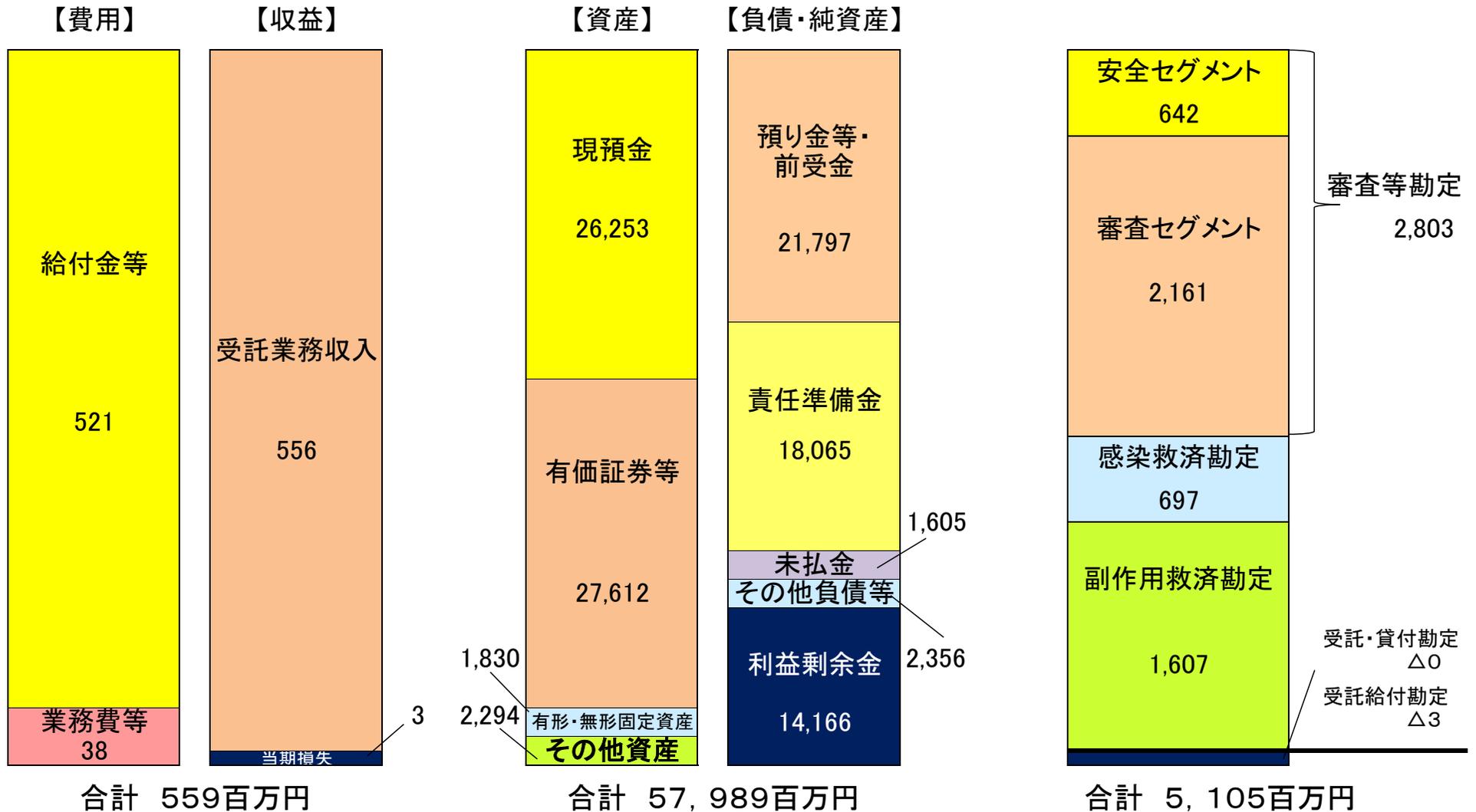
II. 貸借対照表

III. 各勘定別当期損益

【受託給付勘定】

【法人単位】

【法人単位】



平成22事業年度決算（案）の概要

独立行政法人
医薬品医療機器総合機構

平成22事業年度決算については、次に掲げる年度計画予算等による執行計画を踏まえた実績等に基づき、6勘定における財務諸表等を作成した。

（予算等について）

1. 平成22年度予算では、中期目標期間終了時の一般管理費及び事業費を、前中期目標期間最終年度に対してそれぞれ15%及び5%の節減（中期目標期間中の増員等に係る経費については、増額された年度から最終年度までの年数に応じて節減）するという目標を踏まえて編成し、効率化対象経費について一般管理費16.3億円（対前年度12.2%減）及び事業費102.5億円（対前年度1.4%減）とした。
2. この経費節減計画から、さらに効率化を図るため、「随意契約等見直し計画」に基づき一般競争入札を促進し、調達コストの節減等に努めた結果、一般管理費においては、増員未達成等の要因を除いても、3.4億円（節減率20.6%）の節減、また、事業費においても、6.5億円（節減率6.3%）の節減と、一般管理費・事業費いずれにおいても中期計画を上回る節減ができた。
3. また、事業収入のうち拠出金収入については、特定救済勘定の拠出金を除き、出荷額の増等により予算額に対して2.7億円の増収となり、また、手数料収入についても、新医薬品等にかかる審査件数が増加したことにより、予算額に対して7.2億円の増収となった。
4. なお、特定救済勘定において、特定C型肝炎給付金にかかる和解後請求件数が平成22年度の見込みを下回ったことから拠出金が47.1億円減少した一方で、中期目標期間中の給付総額が当初見込みを上回ることが予想されることから、補正予算による政府交付金を受け入れている。

(財務諸表等について)

1. 副作用救済勘定の損益については、事業の財源となる拠出金が出荷額の増により計画以上の収納となり、また、給付金の支給対象者が見込みを下回り、かつ、責任準備金の繰入額が大幅に減少したこと等により、16.1億円の当期利益を計上した。
2. 感染救済勘定の損益については、副作用救済勘定同様、拠出金が計画以上の収納となり、また、給付金の支給対象者が見込みを下回ったことにより、7億円の当期利益を計上した。
3. 審査等勘定のうち審査セグメントの損益については、新医薬品等の審査件数の増加などにより手数料が増収したことに加え、増員未達成による人件費の不用やシステム関係費等の一般競争入札実施による調達コストの節減などを利益要因として、21.6億円の当期利益を計上することができ、平成21年度末の繰越欠損金8.2億円を解消した上で、利益剰余金が13.3億円となった。

また、安全セグメントの損益についても、出荷額の増加により安全対策等拠出金が増収したことに加え、増員未達成による人件費の不用やシステム関係費等の一般競争入札実施による調達コストの節減などを利益要因として、6.4億円の当期利益を計上することができ、利益剰余金が21.1億円となった。

この結果、審査等勘定全体においては、28.0億円の当期利益の計上となり、利益剰余金が34.5億円となった。

決算報告書、損益計算書及び貸借対照表の概要は次頁以降のとおり。

決算報告書、損益計算書及び貸借対照表の概要

I 決算報告書（収入支出予算）

全勘定総表

（単位：百万円）

| 勘定名 (セクト) | 予算額(A) | | 決算額(B) | | 増△減額(B)－(A) | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|
| | 収入 | 支出 | 収入 | 支出 | 収入 | 支出 |
| 副作用救済 | 4,440 | 2,881 | 4,532 | 2,514 | 92 | △367 |
| 感染救済 | 822 | 209 | 863 | 161 | 40 | △48 |
| 審査等 | 13,500 | 13,777 | 14,105 | 10,925 | 604 | △2,852 |
| 審査 | 10,404 | 10,404 | 10,857 | 8,456 | 453 | △1,947 |
| 安全 | 3,096 | 3,373 | 3,247 | 2,468 | 151 | △905 |
| 特定救済 | 10,852 | 12,714 | 15,646 | 6,319 | 4,793 | △6,395 |
| 受託・貸付 | 1,487 | 1,487 | 1,441 | 1,428 | △46 | △58 |
| 受託給付 | 682 | 682 | 560 | 555 | △121 | △126 |
| 合計 | 31,786 | 31,753 | 37,149 | 21,904 | 5,363 | △9,849 |

※計数は原則として、単位未満を切り捨てのため合計と一致しない場合がある。

（以下の各表についても同じ）

勘定別収入・支出の主な内容

1. 副作用救済勘定

（単位：百万円）

| 収入 | 予算額 | 決算額 | 増△減額 |
|-------|-------|-------|------|
| 拠出金収入 | 3,921 | 3,990 | 68 |
| 国庫補助金 | 169 | 167 | △1 |
| 運用収入等 | 349 | 374 | 25 |
| 合計 | 4,440 | 4,532 | 92 |
| 支出 | 予算額 | 決算額 | 増△減額 |
| 救済給付金 | 2,124 | 1,867 | △257 |
| 業務費等 | 642 | 576 | △66 |
| 一般管理費 | 113 | 70 | △42 |
| 合計 | 2,881 | 2,514 | △367 |
| 収支差 | 1,559 | 2,018 | |

概要

- ・ 拠出金収入については、出荷額が見込みを上回ったため、増収となった。
- ・ 救済給付金については、支給人員が見込みを下回ったことにより不用額が生じた。

2. 感染救済勘定

（単位：百万円）

| 収入 | 予算額 | 決算額 | 増△減額 |
|-------|-----|-----|------|
| 拠出金収入 | 664 | 692 | 28 |
| 国庫補助金 | 110 | 110 | △0 |
| 運用収入等 | 48 | 60 | 12 |
| 合計 | 822 | 863 | 40 |
| 支出 | 予算額 | 決算額 | 増△減額 |
| 救済給付金 | 31 | 10 | △20 |
| 業務費等 | 166 | 147 | △19 |
| 一般管理費 | 12 | 3 | △9 |
| 合計 | 209 | 161 | △48 |
| 収支差 | 612 | 701 | |

概要

- ・ 拠出金収入については、出荷額が見込みを上回ったため、増収となった。
- ・ 救済給付金については、支給人員が見込みを下回ったことにより不用額が生じた。

3. 審査等勘定（全体）

（単位：百万円）

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|----------|--------|--------|--------|
| 手数料収入 | 8,877 | 9,597 | 720 |
| 拠出金収入 | 2,365 | 2,537 | 172 |
| 国庫補助金 | 501 | 466 | △35 |
| 運営費交付金 | 442 | 442 | 0 |
| 助成金収入 | 1,281 | 1,013 | △267 |
| その他の収入 | 32 | 46 | 14 |
| 合 計 | 13,500 | 14,105 | 604 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 審査等事業費 | 8,970 | 7,338 | △1,632 |
| 安全対策等事業費 | 2,967 | 2,242 | △725 |
| 一般管理費 | 1,838 | 1,335 | △502 |
| その他の支出 | 1 | 9 | 8 |
| 合 計 | 13,777 | 10,925 | △2,852 |
| 収 支 差 | △277 | 3,180 | |

内訳（１）審査セグメント

（単位：百万円）

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|--------|--------|--------|--------|
| 手数料収入 | 8,877 | 9,597 | 720 |
| 運営費交付金 | 218 | 218 | 0 |
| 助成金収入 | 1,281 | 1,013 | △267 |
| その他の収入 | 26 | 27 | 0 |
| 合 計 | 10,404 | 10,857 | 453 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 審査等事業費 | 8,970 | 7,338 | △1,632 |
| 一般管理費等 | 1,434 | 1,118 | △316 |
| 合 計 | 10,404 | 8,456 | △1,947 |
| 収 支 差 | 0 | 2,401 | |

概要

- ・ 手数料収入については、新医薬品、医療用後発医薬品の審査件数及び再審査に係る適合性調査件数が増加したこと等により増収となった。
- ・ 助成金収入（未承認薬審査迅速化事業）については、未承認薬等開発支援センターから交付された助成金であり、未承認薬等審査に係る嘱託職員の雇用が計画を下回ったことにより減収となった。
- ・ 審査等事業費等の不用額については、予定していた増員の確保に至らず人件費が不用となったこと、システム経費等の一般競争入札に伴い調達コストが節減されたこと、未承認薬審査迅速化事業に係る嘱託職員の雇用が計画を下回ったことに加え、GMP海外実地調査旅費が航空費の低減及び調査地域の欧米からアジアへの移行等に伴い減少したこと等による旅費の執行減等により生じた。

内訳（２）安全セグメント

（単位：百万円）

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|----------|-------|-------|------|
| 拠出金収入 | 2,365 | 2,537 | 172 |
| 国庫補助金 | 501 | 466 | △35 |
| 運営費交付金 | 223 | 223 | 0 |
| その他の収入 | 5 | 19 | 14 |
| 合 計 | 3,096 | 3,247 | 151 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 安全対策等事業費 | 2,967 | 2,242 | △725 |
| 一般管理費 | 404 | 225 | △178 |
| その他の支出 | 1 | 0 | △0 |
| 合 計 | 3,373 | 2,468 | △905 |
| 収 支 差 | △277 | 779 | |

概要

- ・ 拠出金収入は、出荷額が見込みを上回ったため、増収となった。
- ・ 国庫補助金については、執行不用相当額の減収となった。
- ・ 安全対策等事業費等の不用額については、予定していた増員の確保に至らず人件費が不用となったこと、システム経費等の一般競争入札に伴い調達コストが節減されたことにより生じた。

4. 特定救済勘定

（単位：百万円）

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|---------|--------|--------|--------|
| 政府交付金収入 | — | 9,500 | 9,500 |
| 拠出金収入 | 10,852 | 6,146 | △4,706 |
| その他の収入 | 0 | 0 | △0 |
| 合 計 | 10,852 | 15,646 | 4,794 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 救済給付金 | 12,673 | 6,293 | △6,380 |
| 業務費 | 39 | 24 | △14 |
| 一般管理費 | 2 | 1 | △0 |
| 合 計 | 12,714 | 6,319 | △6,395 |
| 収 支 差 | △1,862 | 9,327 | |

概要

- ・ 政府交付金収入については、中期目標期間中の給付総額が当初見込みを上回ることが予想されたことから、国の補正予算により措置された交付金を受け入れた。
- ・ 拠出金収入及び給付金の減少は、和解後請求件数が見込みを下回ったことから、給付金及び給付財源の一部を負担する企業拠出金収入が減少したことにより生じた。

5. 受託・貸付勘定

(単位：百万円)

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|------------|-------|-------|------|
| 受託業務収入 | 1,486 | 1,439 | △46 |
| その他の収入 | 1 | 1 | 0 |
| 合 計 | 1,487 | 1,441 | △46 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 健康管理手当等給付金 | 1,422 | 1,375 | △46 |
| 業務費等 | 53 | 46 | △7 |
| 一般管理費 | 11 | 6 | △5 |
| 合 計 | 1,487 | 1,428 | △58 |
| 収 支 差 | 0 | 12 | |

概要

- ・受託業務収入の減収額及び給付金の不用額については、それぞれ健康管理手当等給付金の支給人員が見込みを下回ったことにより生じた。
- ・業務費等事務経費にかかる不用額（収支差）については、委託先である国及び企業に返還することとしている。

6. 受託給付勘定

(単位：百万円)

| 収 入 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
|----------|-------|-------|------|
| 受託業務収入 | 681 | 560 | △120 |
| その他の収入 | 1 | 0 | △0 |
| 合 計 | 682 | 560 | △121 |
| 支 出 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増△減額 |
| 特別手当等給付金 | 263 | 212 | △51 |
| 調査研究事業費 | 377 | 309 | △68 |
| 業務費等 | 34 | 30 | △3 |
| 一般管理費 | 6 | 3 | △3 |
| 合 計 | 682 | 555 | △126 |
| 収 支 差 | 0 | 4 | |

概要

- ・受託業務収入の減収額及び特別手当等給付金及び調査研究事業費の不用額については、それぞれ特別手当等給付金等の支給人員が見込みを下回ったことにより生じた。
- ・業務費等事務経費にかかる不用額（収支差）については、委託先である（財）友愛福祉財団に返還することとしている。

II 勘定別損益及び利益処分案

全勘定

(単位：百万円)

| 勘定 | 利益又は損失 | 利益処分案又は損失処理案 |
|------------|--------|--------------|
| 1. 副作用救済勘定 | 1,607 | 積立金 |
| 2. 感染救済勘定 | 697 | 積立金 |
| 3. 審査等勘定 | 2,803 | 積立金 |
| 審査 | 2,161 | 積立金相当 |
| 安全 | 642 | 積立金相当 |
| 4. 特定救済勘定 | — | — |
| 5. 受託・貸付勘定 | △1 | 積立金取崩 |
| 6. 受託給付勘定 | △3 | 積立金取崩 |
| 合計 | 5,105 | |

※計数は原則として、単位未満切捨てのため合計と一致しない場合がある。
(以下の各表についても同じ)

III 損益計算書及び貸借対照表

1. 副作用救済勘定

①損益計算書

(単位：百万円)

| 区分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|----------|-------|-------|------|--------|-------|-------|-----|
| 経常費用 | 3,514 | 2,893 | △621 | 経常収益 | 4,259 | 4,500 | 241 |
| 副作用救済給付金 | 1,783 | 1,867 | 83 | 拠出金収入 | 3,790 | 3,990 | 200 |
| 保健福祉事業費 | 20 | 28 | 7 | 補助金等収益 | 145 | 141 | △5 |
| 責任準備金繰入 | 1,063 | 405 | △658 | 財務収益 | 321 | 347 | 26 |
| 業務費 | 503 | 463 | △40 | その他 | 1 | 21 | 19 |
| 一般管理費 | 85 | 71 | △14 | | | | |
| 減価償却費 | 56 | 56 | 0 | | | | |
| 財務費用 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| その他 | 1 | 0 | △1 | | | | |
| 当期総利益 | 744 | 1,607 | 863 | | | | |
| 合計 | 4,259 | 4,500 | 241 | 合計 | 4,259 | 4,500 | 241 |

概要

・収支差20.2億円と責任準備金繰入額4.1億円との差額が主な利益要因となっている。

②貸借対照表

(単位：百万円)

| 区分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|----------|--------|--------|-------|---------|--------|--------|-------|
| 流動資産 | 1,663 | 1,716 | 53 | 流動負債 | 301 | 373 | 71 |
| 現金及び預金 | 1,096 | 1,170 | 74 | 預り補助金等 | 24 | 26 | 2 |
| 有価証券 | 524 | 500 | △23 | 未払給付金 | 143 | 166 | 23 |
| 未収収益等 | 43 | 45 | 1 | 未払金 | 118 | 150 | 32 |
| | | | | 預り金 | 3 | 4 | 0 |
| | | | | リース債務 | 1 | 14 | 13 |
| 固定資産 | 21,452 | 23,519 | 2,066 | 賞与引当金 | 11 | 10 | △1 |
| 有形固定資産 | 8 | 53 | 44 | 固定負債 | 17,697 | 18,137 | 440 |
| 無形固定資産 | 126 | 152 | 26 | 資産見返負債 | 0 | 0 | △0 |
| 投資その他の資産 | 21,317 | 23,313 | 1,995 | 長期リース債務 | 4 | 37 | 32 |
| | | | | 退職給付引当金 | 49 | 52 | 3 |
| | | | | 責任準備金 | 17,642 | 18,047 | 405 |
| | | | | 利益剰余金 | 5,117 | 6,724 | 1,607 |
| | | | | 積立金 | 4,372 | 5,117 | 744 |
| | | | | 当期総利益 | 744 | 1,607 | 863 |
| 合計 | 23,116 | 25,236 | 2,119 | 合計 | 23,116 | 25,236 | 2,119 |

概要

- ・現金及び預金については、次年度の拠出金納付期限（7月末）までの間の管理経費、給付金等の支出に必要な額として約12億円を保有している。
- ・投資その他の資産については、当期発生した利益相当額のうち、翌期以降の執行に影響のない範囲で購入している。（保有債券等については、財政融資資金預託金のほか国債や政府保証債等の債券である。）

2. 感染救済勘定

①損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|---------|------|------|-----|---------|------|------|-----|
| 経常費用 | 79 | 159 | 80 | 経常収益 | 686 | 857 | 171 |
| 感染救済給付金 | 3 | 10 | 7 | 抛出金収入 | 630 | 692 | 61 |
| 保健福祉事業費 | — | 86 | 86 | 補助金等収益 | 13 | 98 | 85 |
| 責任準備金繰入 | 0 | — | △0 | 責任準備金戻入 | — | 4 | 4 |
| 業務費 | 53 | 50 | △3 | 財務収益 | 41 | 49 | 7 |
| 一般管理費 | 4 | 3 | △1 | その他 | 0 | 12 | 12 |
| 減価償却費 | 11 | 8 | △3 | | | | |
| その他 | 5 | — | △5 | | | | |
| 当期総利益 | 607 | 697 | 90 | | | | |
| 合 計 | 686 | 857 | 171 | 合 計 | 686 | 857 | 171 |

概要

- ・収支差7.0億円が主な利益要因となっている。

②貸借対照表

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|----------|-------|-------|-----|---------|-------|-------|-----|
| 流動資産 | 203 | 212 | 8 | 流動負債 | 20 | 32 | 12 |
| 現金及び預金 | 199 | 206 | 7 | 預り補助金等 | 3 | 11 | 7 |
| 未収収益等 | 4 | 5 | 1 | 未払給付金 | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産 | 3,121 | 3,819 | 698 | 未払金等 | 15 | 20 | 4 |
| 無形固定資産 | 21 | 22 | 1 | 賞与引当金 | 1 | 1 | 0 |
| 投資その他の資産 | 3,100 | 3,797 | 696 | 固定負債 | 25 | 22 | △3 |
| | | | | 退職給付引当金 | 2 | 4 | 1 |
| | | | | 責任準備金 | 23 | 18 | △4 |
| | | | | 利益剰余金 | 3,279 | 3,976 | 697 |
| | | | | 積立金 | 2,671 | 3,279 | 607 |
| | | | | 当期総利益 | 607 | 697 | 90 |
| 合 計 | 3,325 | 4,032 | 707 | 合 計 | 3,325 | 4,032 | 707 |

概要

- ・現金及び預金については、次年度の抛出金納付時期（7月末）までの間の管理経費、給付金等の支出財源として、必要な金額として2億円程度を保有している。
- ・投資その他の資産については、当期発生した利益相当額のうち、翌期以降の執行に影響のない範囲で購入している。（保有債券等については、国債や政府保証債等の債券である。）

3. 審査等勘定（全体）

①損益計算書

（単位：百万円）

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|----------|--------|--------|-------|----------|--------|--------|-------|
| 経常費用 | 10,857 | 10,911 | 53 | 経常収益 | 12,612 | 13,715 | 1,102 |
| 審査等事業費 | 2,536 | 2,543 | 6 | 運営費交付金収益 | 410 | 395 | △14 |
| 安全対策等事業費 | 980 | 1,096 | 115 | 補助金等収益 | 728 | 1,072 | 343 |
| 業務費 | 5,229 | 5,533 | 304 | 手数料収入 | 8,973 | 9,597 | 624 |
| 一般管理費 | 1,502 | 1,199 | △303 | 抛入金収入 | 2,361 | 2,537 | 175 |
| 減価償却費 | 606 | 504 | △102 | 受託業務収入 | 24 | — | △24 |
| 財務費用 | 2 | 25 | 22 | その他 | 114 | 112 | △2 |
| その他 | 0 | 9 | 8 | | | | |
| 臨時損失 | 0 | 0 | △0 | | | | |
| 当期総利益 | 1,754 | 2,803 | 1,049 | | | | |
| 合 計 | 12,612 | 13,715 | 1,102 | 合 計 | 12,612 | 13,715 | 1,102 |

②貸借対照表

（単位：百万円）

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|---------|--------|--------|-------|-----------------|--------|--------|-------|
| 流動資産 | 11,624 | 14,255 | 2,631 | 流動負債 | 10,930 | 10,632 | △297 |
| 現金及び預金 | 10,169 | 12,798 | 2,628 | 運営費交付金債務 | 159 | 206 | 46 |
| 仕掛審査等費用 | 1,407 | 1,421 | 13 | 預り補助金等 | 231 | 517 | 286 |
| 未収金等 | 46 | 34 | △11 | 未払金 | 1,297 | 1,025 | △271 |
| 固定資産 | 1,383 | 1,586 | 202 | 前受金 | 8,839 | 8,339 | △499 |
| 有形固定資産 | 498 | 755 | 256 | 預り金 | 69 | 90 | 21 |
| 無形固定資産 | 885 | 831 | △54 | リース債務 | 60 | 148 | 87 |
| | | | | 賞与引当金 | 273 | 304 | 30 |
| | | | | 固定負債 | 893 | 1,243 | 349 |
| | | | | 資産見返負債 | 173 | 131 | △41 |
| | | | | 長期リース債務 | 204 | 416 | 212 |
| | | | | 退職給付引当金 | 515 | 694 | 178 |
| | | | | 資本金 | | | |
| | | | | 政府出資金 | 1,179 | 1,179 | 0 |
| | | | | 資本剰余金 | △642 | △664 | △21 |
| | | | | 損益外減価償却累計額（△） | △641 | △662 | △21 |
| | | | | 損益外固定資産除売却差額（△） | △1 | △1 | △0 |
| | | | | 利益剰余金又は繰越欠損金 | 646 | 3,450 | 2,803 |
| | | | | 積立金又は繰越欠損金 | △1,107 | 646 | 1,753 |
| | | | | 当期総利益 | 1,754 | 2,803 | 1,049 |
| 合 計 | 13,008 | 15,841 | 2,833 | 合 計 | 13,008 | 15,841 | 2,833 |

内訳（１）審査等勘定（審査）

①損益計算書

（単位：百万円）

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|--------|-------|--------|-------|----------|-------|--------|-----|
| 経常費用 | 8,640 | 8,374 | △266 | 経常収益 | 9,766 | 10,535 | 768 |
| 審査等事業費 | 2,536 | 2,543 | 6 | 運営費交付金収益 | 201 | 195 | △5 |
| 業務費 | 4,524 | 4,540 | 16 | 補助金等収益 | 501 | 667 | 166 |
| 一般管理費 | 1,214 | 973 | △241 | 手数料収入 | 8,973 | 9,597 | 624 |
| 減価償却費 | 361 | 285 | △76 | 受託業務収入 | 24 | — | △24 |
| その他 | 0 | 30 | 30 | その他 | 66 | 74 | 7 |
| 臨時損失 | 0 | 0 | △0 | | | | |
| 当期総利益 | 1,125 | 2,161 | 1,035 | | | | |
| 合 計 | 9,766 | 10,535 | 768 | 合 計 | 9,766 | 10,535 | 768 |

概要

- ・増員による業務費の増加があったものの、手数料収入が着実に増加したこと等により、大幅な利益計上（21.6億円）となった。

②貸借対照表

（単位：百万円）

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|---------|--------|--------|-------|-----------------|--------|--------|-------|
| 流動資産 | 9,801 | 11,522 | 1,721 | 流動負債 | 10,511 | 9,982 | △528 |
| 現金及び預金 | 8,338 | 10,057 | 1,718 | 運営費交付金債務 | 80 | 103 | 23 |
| 仕掛審査等費用 | 1,407 | 1,421 | 13 | 預り補助金等 | 167 | 455 | 288 |
| 未収金 | 54 | 43 | △11 | 未払金 | 1,063 | 626 | △436 |
| 固定資産 | 823 | 979 | 156 | 前受金 | 8,839 | 8,339 | △499 |
| 有形固定資産 | 492 | 640 | 147 | 預り金 | 59 | 78 | 18 |
| 無形固定資産 | 330 | 338 | 8 | リース債務 | 60 | 118 | 57 |
| | | | | 賞与引当金 | 241 | 260 | 19 |
| | | | | 固定負債 | 774 | 1,040 | 266 |
| | | | | 資産見返負債 | 107 | 99 | △8 |
| | | | | 長期リース債務 | 204 | 336 | 132 |
| | | | | 退職給付引当金 | 461 | 604 | 142 |
| | | | | 資本金 | | | |
| | | | | 政府出資金 | 752 | 752 | 0 |
| | | | | 資本剰余金 | △589 | △611 | △21 |
| | | | | 損益外減価償却累計額（△） | △588 | △609 | △20 |
| | | | | 損益外固定資産除売却差額（△） | △1 | △1 | △0 |
| | | | | 積立金及び繰越欠損金 | △824 | 1,337 | 2,161 |
| | | | | 繰越欠損金 | △1,949 | △824 | 1,125 |
| | | | | 当期総利益 | 1,125 | 2,161 | 1,036 |
| 合 計 | 10,624 | 12,501 | 1,877 | 合 計 | 10,624 | 12,501 | 1,877 |

概要

- ・仕掛審査等費用は、既に審査等に着手している品目のうち、年度内に審査等が終了していない品目に要した費用について、個別の原価計算結果により計上しているものである。
- ・前受金は、企業から振り込まれた手数料のうち、審査等が終了していないものを計上している。
- ・預り金は、審査手数料誤納還付等を計上している。
- ・リース債務及び長期リース債務は、ファイナンス・リースにより一定額以上で取得した資産の未経過リース料を計上している。
- ・損益外減価償却累計額は、国から現物出資された資産の減価償却の累計額を計上している。
- ・損益外固定資産除売却差額は、国から現物出資された資産のうち、除却した資産の除却時の残存価額を計上している。

4. 特定救済勘定

①損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|---------|--------|-------|--------|--------------|--------|-------|--------|
| 経常費用 | 13,789 | 6,323 | △7,466 | 経常収益 | 13,789 | 6,323 | △7,466 |
| 特定救済給付金 | 13,748 | 6,293 | △7,455 | 特定救済基金預り金取崩益 | 13,748 | 6,293 | △7,455 |
| 業務費 | 34 | 25 | △9 | 補助金等収益 | 37 | 26 | △10 |
| 一般管理費 | 2 | 1 | △1 | その他 | 3 | 3 | △0 |
| 減価償却費 | 3 | 3 | △0 | | | | |
| 当期総利益 | — | — | — | | | | |
| 合 計 | 13,789 | 6,323 | △7,466 | 合 計 | 13,789 | 6,323 | △7,466 |

概要

- ・当勘定は、基金から費用と同額を取崩し収益化していくため、損益が生じない構造となっている。
- ・特定救済基金預り金取崩益については、政府交付金及び企業からの拠出金財源のうち、給付金に充てられた額
- ・補助金等収益については、政府交付金財源のうち、事務費等に充てられた額

②貸借対照表

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|--------|-------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|
| 流動資産 | 3,258 | 12,586 | 9,327 | 流動負債 | 2 | 2 | 0 |
| 現金及び預金 | 3,115 | 11,881 | 8,766 | 未払金等 | 1 | 1 | 0 |
| 未収金 | 142 | 704 | 561 | 賞与引当金 | 0 | 1 | 0 |
| 固定資産 | 15 | 11 | △3 | 固定負債 | 3,271 | 12,594 | 9,323 |
| 有形固定資産 | 0 | 0 | △0 | 資産見返補助金等 | 15 | 11 | △3 |
| 無形固定資産 | 15 | 11 | △3 | 特定救済基金預り金 | 3,255 | 12,582 | 9,326 |
| | | | | 長期預り補助金等 | 316 | 9,789 | 9,473 |
| | | | | 預り拠出金 | 2,939 | 2,792 | △146 |
| | | | | 退職給付引当金 | 0 | 1 | 0 |
| | | | | 利益剰余金 | — | — | — |
| 合 計 | 3,273 | 12,597 | 9,323 | 合 計 | 3,273 | 12,597 | 9,323 |

概要

- ・特定救済基金預り金のうち、
 長期預り補助金等については、政府交付金財源の基金残高
 預り拠出金については、企業からの拠出金財源の基金残高

5. 受託・貸付勘定

①損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|------------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-----|
| 経常費用 | 1,511 | 1,429 | △82 | 経常収益 | 1,517 | 1,428 | △88 |
| 健康管理手当等給付金 | 1,457 | 1,375 | △82 | 受託業務収入 | 1,515 | 1,427 | △88 |
| 業務費 | 44 | 47 | 3 | その他 | 1 | 1 | △0 |
| 一般管理費 | 7 | 4 | △2 | | | | |
| 減価償却費 | 0 | 0 | △0 | | | | |
| その他 | 1 | 1 | 0 | | | | |
| 当期総利益 | 5 | △0 | △6 | | | | |
| 合 計 | 1,517 | 1,428 | △88 | 合 計 | 1,517 | 1,428 | △88 |

②貸借対照表

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|--------|------|------|-----|---------|------|------|-----|
| 流動資産 | 150 | 139 | △11 | 流動負債 | 135 | 124 | △11 |
| 現金及び預金 | 51 | 52 | 0 | 未払給付金 | 105 | 99 | △6 |
| 未収金 | 99 | 87 | △11 | 未払金 | 16 | 9 | △6 |
| 固定資産 | | | | 預り金 | 11 | 12 | 1 |
| 有形固定資産 | 0 | 0 | △0 | 賞与引当金 | 1 | 1 | 0 |
| | | | | 固定負債 | 3 | 3 | 0 |
| | | | | 退職給付引当金 | 3 | 3 | 0 |
| | | | | 利益剰余金 | 12 | 11 | △0 |
| | | | | 積立金 | 6 | 12 | 5 |
| | | | | 当期総利益 | 5 | △0 | △6 |
| 合 計 | 150 | 139 | △11 | 合 計 | 150 | 139 | △11 |

概要

- ・預り金については、国及び委託企業に対する精算返還額を含んでいる。

6. 受託給付勘定

①損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|----------|------|------|-----|--------|------|------|-----|
| 経常費用 | 569 | 559 | △10 | 経常収益 | 566 | 555 | △11 |
| 特別手当等給付金 | 216 | 212 | △4 | 受託業務収入 | 566 | 555 | △11 |
| 調査研究事業費 | 313 | 309 | △4 | 当期総損失 | 2 | 3 | 0 |
| 業務費 | 29 | 30 | 1 | | | | |
| 一般管理費 | 4 | 3 | △1 | | | | |
| 減価償却費 | 4 | 2 | △1 | | | | |
| 合 計 | 569 | 559 | △10 | 合 計 | 569 | 559 | △10 |

②貸借対照表

(単位：百万円)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 | 区 分 | 21年度 | 22年度 | 増減額 |
|--------|------|------|-----|---------|------|------|-----|
| 流動資産 | 151 | 143 | △8 | 流動負債 | 149 | 141 | △8 |
| 現金及び預金 | 151 | 143 | △8 | 未払給付金 | 52 | 51 | △0 |
| 未収金 | 0 | 0 | 0 | 未払金 | 81 | 83 | 2 |
| 固定資産 | 6 | 3 | △2 | 預り金 | 15 | 4 | △10 |
| 有形固定資産 | 0 | 0 | △0 | 賞与引当金 | 0 | 1 | 0 |
| 無形固定資産 | 6 | 3 | △2 | 固定負債 | | | |
| | | | | 退職給付引当金 | 3 | 3 | 0 |
| | | | | 利益剰余金 | 5 | 2 | △3 |
| | | | | 積立金 | 8 | 5 | △2 |
| | | | | 当期総損失 | △2 | △3 | △0 |
| 合 計 | 157 | 146 | △10 | 合 計 | 157 | 146 | △10 |

概要

- ・預り金については、委託先の(財)友愛福祉財団に対する精算返還額を含んでいる。